



TOP NEWS



「年度末研修」

毎年、春分の日、岡山子ども協会職員が一同に会する研修を行っています。ほぼ全職員（200名超）が集う一年に一度の全体研修です。午前中は、新年度に向けて、法人として大切にしたいことや各施設・事業所の事業計画等を説明し、午後から講演会を開催します。今回は、全国私立連盟の機関紙（保育通信）に連載をもたれている井桁容子先生をお招きしています。実践を基にこどもの育ちや保育の重要性を説かれ、保育者の心に寄り添い、また明日から保育をがんばろうと思えるようなお話をされます。岡山県私立保育連盟会員園からの参加もあり、みんなで学びのある時間になりそうです。

社会が急速に変容していく中、保育・教育・療育の在り方や求められることも変わってきています。大切に守っていくもの、時代とともに変化していくことを見極めながら、岡山子ども協会も育ち続けます。



コラム

「恩送り～Pay it forward～」

みなさんは「恩送り」という言葉を知っていますか？「pay it forward（ペイフォワード）」とも言います。

「恩送り」とは、誰かに親切にもらったとき、その相手に直接お返し（恩返し）をするのではなく、別の誰かに親切を“つなぐ”という考え方です。

たとえば・・・

- ・朝、荷物が多いときにドアを押さえてもらった
- ・困っているときに、他の方が声をかけてくれた
- ・忙しいときにさりげなく手伝ってもらった

こうした小さな優しさに触れたとき、その方に必ずしも同じ形で返す必要はありません。代わりに、今度は自分が別の誰かに少し手を差し伸べる。その思いやりがまた別の誰かへと渡り、やがてみんなに広がっていく……。それが「恩送り（pay it forward）」の考え方です。

子どもたちは、大人同士の関わりをよく見えています。「ありがとう」が自然に交わされること、困っている人にさりげなく手を差し伸べる姿、相手を思いやる言葉かけ。そうした日常の積み重ねが、子どもたちにとって何よりの学びになります。大きなことや特別なことをする必要はありません。ほんの少しの気遣いや、やさしい一言で十分です。

岡山子ども協会は、思いやりがめぐる場所でありたいです。安心して、お互いの立場や状況を察して、支え合える関係性を育てていきたいです。そこに、保護者や職員の垣根はないと思っています。保護者の方、職員、地域の方が手を取り合い、その真ん中に子どもたちがいる。

ゆっくり ゆっくり おおきなあれ
ともに子どもたちの成長を見守っていければと願っています。

次号のトピック（予告なく変更する場合有）

●卒園式 他

【編集後記】

前回の臨時増刊号から、間をおかず発行しようと頑張ってみました。でも、週刊にするのはさすがに大変…。やっぱり隔週発行が限界です（笑）。楽しみにされている声も届くようになりました。ちょっと背伸びして始めたOKK ニュースですが、誰かに届いているのであれば励みになります。また、お近くの職員でも結構ですので、感想をお寄せください。

ちなみに、この号を発信している時（2/27 10:00）は、とよた保育園の親子熊山登山についていってると思います。

バックナンバー（「情報公開」の欄に掲載しています）

<https://okayamakodomokyoukai.jp/overview>